



合発曲「降りつむ」「街を返せ」の最終レッスンを行う！

□10月3日(金)の定例レッスンは奥村さんの体操と富樫さんの綿密なヴォイストレーニングに始まり、10月13日(月・祝)に開催される「大阪のうたごえ合唱発表会」に向けて本並先生の指揮、森さんのピアノで、「降りつむ」と「街を返せ」の2曲の最後の仕上げのレッスンとなりました。参加者は全31名。

本並先生から、「降りつむ」と「街を返せ」の練習は、合発には今日が最後、大阪から「in 宮城」にはBグループからは2団体しか推薦されない！13日当日は今日のような事前の発声練習をする時間が確保できない。各自の事前の努力と健康と精神力の維持が勝負となる。今日は集中力を持ってレッスンしよう！と団員に檄を飛ばされました。

(当日のレッスンの一端を「レッスンメモ」として記載しました。参照してください。)



大阪のうたごえ合唱発表会のスケジュール決定！！

10月13日(月・祝) 於：LIC はびきの
近鉄南大阪線「古市」駅下車 西へ徒歩10分
(近鉄阿倍野橋駅より、「吉野」行または
「橿原神宮」行の急行または準急に乗車)
集合：10時30分、ロビーへ
「昂」リハーサル：10時45分
本番：11時28分
服装：赤シャツ、黒ズボン、黒靴、9条バッジ

(注)当日はヴォイストレーニングや体操を全員でする時間がありません。各自で事前に身体をストレッチし、毎回のレッスンで習っている発声の練習をしてリハーサルに臨んでください。

また合発当日までは3日のレッスンから10日間を経過することになります。各自の個人での復習レッスンで本番に最高のレベルで臨めるよう努力しましょう。



(レッスンメモ1) 「降りつむ」

「かなしみのくにーにゆきがふりつむ」:

イントロのテンポ合わせる！出だしの言葉「か」は集中力で準備して！音程合わせろ！“ソ・ミ・ド”はハモらないとダメ！

前奏のピアノを聴いて情景をイメージしろ！雪が深々と降っていることを想像して声を出せ。すべての言葉は口を縦に空けて！ここまでの4小節のフレーズで合否が決まるといってよい。

「かなしみをかてとして 生きよと ゆきがふりつむ・ふりつむ・ふりつむ・・・」

「かなしみを」の「か」：前もって用意して上品な声で出せ！

雪はどこから降ってくるの？「ふりつむ ふりつむ ふりつむ・・・」と3度も出てくる。「ふりつむ」の表現を変えよう！

ここまでで一つの勝負だと考えよう！

(出だしを合わせる、音程を合わせる、想像力をたくましくして上品な声で言葉の一つ一つ、一語一語を口を縦にあけて豊かな表現で、)

「失いつくしたものの上にゆきがふりつむ・・・」

ユニゾンだよ！声をまとめて、口を横にしないで、縦に空けて！声を頭の上の方へ集める気持ちで！言葉をはっきりと！

「うしないつくしたもののうえーに」の「うえーに」：むつかしいが「えーに」横に気張った声にならないように！

「ゆきがふりつむー」：フレーズの最後の言葉の処理の上手い下手で上手な歌手かどうかが決まる。

「ふりつむー」最後まで口を縦にあけて、「むー」は少しくレッシュェンドして<>(強弱をつける)。

「その山河の上に・・・/ その薄いシャツのうえに・・・/ そのみなしごの乱れた髪の上に・・・/

四方の潮騒いよいよ高く/ ゆきがふりつむ・・・/ ゆきがふりつむ・・・」

それぞれのフレーズを色分けして表現する。イメージして、のんびんだらりと歌わずに、一つのフレーズごとに表現が異なる。気持ちも表現もたたみかけるように！

「薄いシャツのうえに・・・」：「のう」と母音が2つ続く場合はそれぞれはっきりと出す。

「・・・乱れた髪の上に・・・」：テンポ合わない！乱れている！合わせて！

「いよいよ高く」：「高く」遅れないこと。8分音符で「たか」+「く・・・」

「ゆきがふりつむ」：「ゆき」は「いゆき」くらいに言う。

最後の「雪がふりつむ」は「雪が」から遅くするのではない！「ふりつむ」と「つむ」に入ってから遅くする。

「よるもひるもなく ながいかなしみの おんがくのごとく

泣きさけびの声をしずめよと ゆきがふりつむ・・・

ひよどりや きつねの 巣にこもるごとく

かなしみにこもれと 地に強い草の葉の ふゆをこすごとく・・・」

このフレーズはユニゾン！

「よる」の「よ」の音程が低い、高めに。「よるもひるもなく」のひとことひとことを、口を縦にあけて「なきさけびのこえ」の「な」、「こえ」の「こ」と「え」は散らばった声にしない。

「ひよどりや・・・」：やさしい声で、きばらない。汚い「やあ・・・」は駄目。小さい声でよい。

「りや・・・」は「ひよど」から半音下がって「りや・・・」同じ音で響かす。下がりすぎるな！高めのところで保つこと。ファルセットの声で「やあ・・・」としたほうがよい。

「きつねの・・・」「すにこもるごとく・・・」：「きつねの」「・・・ごとく・・・」はそれぞれ同じ音程！下がらない！

最後まで音程下がらないように！

「ふゆをこせよと ふゆをこせよと そのしたから・・・」

ふゆをこせよと ふゆをこせよと・・・お・・・お……………」

「ふ」はよく聞こえるようにはっきり出せ！

4度も「ふゆをこせよと」「ふゆをこせよと」と言う。気持ちも表現もたたみかけるように！

初めの「ふゆをこせよと」はあわてないで、

最後のバリトンとバスの「ふゆをこせよとお・・・」口を開けて音を続ける。休まずに、「その下から・・・」を待つ。「とお・・・」の音が低い！「ラシ・・・」しっかり音を保て！

「そのしたから・・・」：p p (ピアニッシモ)小さいけれど、はっきりした言葉で表現せよ！表情豊かに！

「したから・・・」の「ら」は下がらないように！

この「そのしたから・・・」の6文字の言葉の響きがお客様への聞かせどころだ！

「やがてよき春の たちあがれと ゆきふりつむ

無限にふかい空から しずかに しずかに・・・」

「やがてよき」の「や」はそれぞれのパートは自分の音をしっかりと保って！音が合うように(ハモルように)、曲の最初の「かなしみのくにに・・・」の「か」と同じ音程。

ここに来て、「よき春よ！立ち上がるのだ！春が来た！！」と、このフレーズはイメージ豊かに、明るい声で！

「よき春の」：明るく！「たちあがれと」：ア行の発声、縦に！

「ゆきふりつむ」：和音合わせよう！

「そらから・・・」：テナーの音程正しく確保して！

「しずかに・・・しずかに・・・」(rit) (だんだん遅く)。

最後の「に・・・」合わせよう！きれいな「に」を！（縦の口で）

「非情のやさしさをもって ゆきがふりつむ

かなしみのくにに ゆきがふりつむ・・・」

やさしい声で入る。

最後の「ゆきがふりつむ・・・」の「む・・・」は最後まで出し切ること（音を切ってしまうわない）余韻を残して！

(レッスンメモ2)「街を返せ」

・「街をかえせ」と「村を返せ」の「街」の「ま」と「村」の「む」は同じ音程

(「ミミミ ミレミ」「ミミミ ミレミ」)

怒鳴るのではない！一つ一つの音を響かせよう！

・「返せ」というものは4つずつ、間違えずに、はっきりと！（間違えた言葉は目立つ！）

「街」「村」「海」「風」

「波」「魚(うお)」「恋」「日差し」

「乾杯」「祖母」「誇り」「福島」

・4つの「返せ」はリズムしっかりと！だらだらと「返せ」ではない。はっきりとした言葉でリズムカルに！

・「チャイムの音 着信の音 投函の音」：それぞれの言葉をしっかりと、はっきりと！

・バリトンのハミング：最初は「レ・・・4拍」「bシ・・・4拍」「bシ・・・4拍」+「おと・・・」(bシbシミ・・・) 2回目「ファ・・・4拍」「ファ・・・4拍」「ファ・・・4拍」+「おと・・・」(レbファミ) 音程確保！正しいハミングを！

・「波を返せ」で4つに分かれると途端に声が小さくなるのでは困る。各パートしっかり声を出して！

・「乾杯を返せ」・・・4つの返せと主張するもの、しっかりと表現する。各パートの音程確かに！出だしがバラバラでは困る！「乾杯」「祖母」「誇り」「福島」とピタッと合わせよう！

□大橋さんが入団されました！

3日のレッスンに新しいメンバーが参加され、即入団されました。大橋一雄さん。年齢はS23年生まれです。年齢を下げたいメンバーです。当面テノールで。お住まいは西淀川区出来島。レッスン終了後「えびすや」で有志で歓迎会を。大歓迎です！！

